

《旭川-台北線 定期便 復活記念企画》  
朝刊別刷「ななかまど」等での展開

旭川空港では、2017年8月の上海線休止以来 途絶えていた国際定期便が、2018年3月の、台湾・台北線の定期化で7カ月ぶりに復活となりました。同便就航の第一報を聞いた時、この嬉しいニュースを受け、即座に就航企画を立案しました。そして、旭川空港の利用率アップ・路線拡大（国際定期便の通年運行化も）を目指す旭川市空港事務所を通じて、旭川空港利用拡大期成会へ提案し出稿となりました。

北海道新聞旭川支社では、地域の情報発信で人気の生活情報紙「ななかまど」（毎週金曜日約19万部発行。旭川市内は全戸配布。ブランクett8頁）を発行しています。道北エリアはパスポート取得率が低く、海外旅行への関心が少ないといわれており、“敷居”を低く感じるように訴求しようと考え、この媒体が最適として決定しました。

「ななかまど」編集スタッフとも連携し、特集では、地元在住の台湾人女性が推奨する、美味しい台湾料理が食べられる飲食店を紹介。その味で知って「やっぱり現地に行きたい」という衝動に…という内容に。「ななかまど」の主な読者層である女性を意識しつつ、台湾を身近に感じられるような内容としました。

南国・台湾のイメージにふさわしいカラフルな紙面となり、**広告主にも高い評価をいただきました**。また、その紙面を国内旅行会社の旭川支店にお見せし、別の路線やツアーの提案に伺ったところ、「見たよ！目立っていたね」と好印象で、「他の航空会社に言ってみよ」と**反響の広がりも見せています**。



(2018年3月23日 朝刊別刷「ななかまど」全15段  
《約19万部発行/旭川市周辺および一部未購読者にも配布》)



(2018年3月27日 朝刊 旭川北見版 社会面 全1段)

(旭川支社営業部 後藤 敦)

POINT!

\* 空港に新規路線が就航する際のPRなど、北海道新聞で地域に根ざした発信をすることが可能です。

◆お問い合わせ/北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2018.5)

\* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (<http://adv.hokkaido-np.co.jp/>)